



## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 目	「目を皿にする」の「目」の部分が入ります。意味は「何かを見つけようとして、目を大きく見開いて熱心に見ること」です。
問2	答え 2 手	「手塩にかける」の「手」の部分が入ります。意味は「自分で直接世話をして大切に育てる」です。
問3	答え 2 昨日のけんかは、もう水に流そう。	「水に流す」の正しい使い方は「昨日のけんかは、もう水に流そう。」です。意味は「過去のいざこざや嫌なことをなかつたことにする」です。
問4	答え 3 彼は口が悪く、友達を泣かせてしまった。	「口が悪い」の正しい使い方は「彼は口が悪く、友達を泣かせてしまった。」です。意味は「言葉づかいが荒く、人を傷つけるようなことを言う」です。
問5	答え 1 テストの点数が悪く肩を落とす。	「肩を落とす」の正しい使い方は「テストの点数が悪く肩を落とす。」です。意味は「がっかりして元気をなくす」です。
問6	答え 4 会議中に上司の話へ口を挟むのは失礼だ。	「口を挟む」の正しい使い方は「会議中に上司の話へ口を挟むのは失礼だ。」です。意味は「他人の話の途中で割り込んで意見を言う」です。
問7	答え 2 新しい係のリーダーに白羽の矢が立った。	「白羽の矢が立つ」の正しい使い方は「新しい係のリーダーに白羽の矢が立った。」です。意味は「多くの人の中から選ばれること」です。
問8	答え 3 鼻	「鼻であしらう」の「鼻」の部分が入ります。意味は「相手を馬鹿にして冷淡な態度をとる」です。
問9	答え 2 転校生なのにクラスで大きな顔をする。	「大きな顔をする」の正しい使い方は「転校生なのにクラスで大きな顔をする。」です。意味は「いばった態度をとる」です。
問10	答え 1 気	「気が短い」の「気」の部分が入ります。意味は「すぐにいらいらして、がまん強く待つことができない」です。
問11	答え 4 耳	「耳をそろえる」の「耳」の部分が入ります。意味は「必要な金額をすべて用意する」です。
問12	答え 3 雲	「雲泥の差」の「雲」の部分が入ります。意味は「非常に大きな違いがあること」です。
問13	答え 1 非常に大きな違いがあること	「雲泥の差」は「非常に大きな違いがあること」という意味です。
問14	答え 4 犬	「犬猿の仲」の「犬」の部分が入ります。意味は「非常に仲が悪く、顔を合わせれば争う関係」です。
問15	答え 1 生活態度を注意され、耳が痛い思いをした。	「耳が痛い」の正しい使い方は「生活態度を注意され、耳が痛い思いをした。」です。意味は「自分の欠点や弱点を指摘されて、聞くのがつらいこと」です。
問16	答え 2 迷子になった子犬を、目を皿にして探した。	「目を皿にする」の正しい使い方は「迷子になった子犬を、目を皿にして探した。」です。意味は「何かを見つけようとして、目を大きく見開いて熱心に見ること」です。
問17	答え 1 次から次へとよくしゃべる	「舌が回る」は「次から次へとよくしゃべる」という意味です。
問18	答え 4 言っではいけないことを、うっかりしゃべってしまう	「口が滑る」は「言っではいけないことを、うっかりしゃべってしまう」という意味です。